

沖縄県保険医協会会員数
847名
(1月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
106,673名
(1月1日付 現勢)

沖縄 保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0061 那覇市古島2-28-2
佐辺ビル103号
TEL (098) 894-9579
FAX (098) 894-9589
https://okinawa-hk.com
発行人 高嶺朝広
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)

迎春

心も しなやかに

も

2025 和

上原 和博
協同にじくりニック



年頭所感
沖縄県保険医協会
会長 高嶺 朝広

新年おめでとうございます。

昨年はロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ハマス戦争の長期化、イスラエルとヒズボラ戦争、韓国においてはユン大統領による戒厳令、日本国内では1月1日に能登半島沖地震、羽田の航空機衝突事故、沖縄県内では集中豪雨による河川の氾濫が起きました。また大多数の国民の反対にもかかわらず政府は保険証廃止を強行しています。いまこそ県民の受療権を守り命と健康を守るため、健康保険証の存続の声を上げるときが来たと思っています。

昨年の診療報酬改定はこれまでにない厳しい改定であり、さらに物価の高騰、看護師をはじめとする人手不足が重なり、病院とクリニックの運営と経営は非常に厳しくなっております。困難な時代にあるからこそ、会員の皆さまの頼りになる保険医協会となれるように尽くしてまいります。

本年も倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

弾風

保団連全国
研究会(コロナ
前・沖縄での開
催だった)で
「朝フルまご和
食」の三重県上

瀬クリニック上瀬英彦院長
が提唱の食事法の発表を聞
いた。その会場で著者のこ
本も頂いた。

2型糖尿病の患者さんに
推奨し血糖値や体重に効果
があるとの熱意ある報告に
感激!朝フルーツのみで
OK!で、カロリー制限や
糖質制限もなく、簡単な
と私もトライ。

しかし課題が多い。白い
ご飯がないと気が済まない
家人との兼ね合い。次の課
題は食べる順番がある事だ。
非加熱食品をまず食べ、加
熱食品はその次。その中で
も、食物繊維を含む煮物
和え物の植物性食品、タン
パク質の魚介や豆、最後は
軽いごはんの順番に食べる。
また、小麦は避けるなど。
あとは基本的なダイエット
法と一緒に。

日本の食事はお米のご飯
と一緒に食べを食べてい
るので、家人にはこの順番
は向かない。又私はパンが
大好きときている。(ちな
みに「まごわやさしい」は
ま(豆)ご(ゴマ)わ(ワ
カメなどの海藻)や(野
菜)さ(魚介)し(椎茸な
どのキノコ)い(芋)。)
でも健康長寿に、おすすめ
の食事法だ。

先生方、スタッフの方々、
新年にはぜひ先生のご本を
読み、チャレンジされたい
し!

年頭の挨拶

副会長 座覇 修好（船越歯科医院）



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。

さて会員各位のおかげをもちまして私共沖縄県保険医協会も847名を擁する団体へと成長させて頂きました。医療界を包む環境は、年を追うごとに厳しく、苦慮する年が続いております。我々沖縄県保険医協会は会員の先生方と共に歩みこれと取り組んで参りました。政府、国民と医療現場の現状をいかに共

副会長 山田 護（やまだクリニック）



新年明けましておめでとうございます。

今年には巳年、巳は再生と変革の象徴だそうです。ヘビが脱皮して新しい姿へと生まれ変わるように、私たちも更なる高みへとチャレンジする年にしたいものです。昨年6月に診療報酬の改定が行われ、医科・歯科ともに大きな打撃を受けています。その影響については、昨年9月の医科学習会に

副会長 樋口 豊（Yマリンデンタルクリニック）



恭賀新年
本年が、会員の皆様により一年となりますことを祈念しております。

さて、2020年来の新型コロナウイルスは2類相当の5類に移行され、「政府として一律に日常における基本的感染対策を求めない」と変更されましたが、昨年に国内複数の学会が「ワクチンを推奨する」と公表しました。

理事 照屋 正信

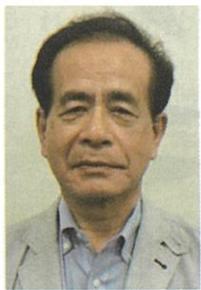


新年おめでとうございます。昨年はコロナ禍が漸く収束し、明るい兆しが見えた一方、医療機関は診療報酬のマイナ改定や異常な高物価、医療従事者の求人難にも悩まされ経営も大変な一年でした。

築は個人情報保護やセキュリティに大きな課題を抱えています。

今年も、微力ながら会員

理事 仲里 尚実（オリブ山病院）



忍び寄る「戦争前夜」にさせないために

昨年の年頭の挨拶の見出しに「新しい戦前」から「戦争前夜」にさせない行動を」と書きしました。一年が経って全くそのまま再掲できる状況であることに一抹の無念さを感じます。

今年は戦後80年です。あの沖縄戦の悲惨を体験し

際競争力は38位に落ちたと述べています。このように凋落著しい経済、財政、失われた30年の責任は誰がとるのでしょうか。

スーパードッグに買い物に出かけると異常な食品の高騰に驚く。リンゴ1個320円、温州ミカン90円、きゅうり100円、キャベツ640円――。庶民には手が届かない値段で、お母さん方の嘆きの声が伝わります。

の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。よろしくお願い致します。

への無差別爆撃（しばしば「病院の地下にハマスが潜んでいる」が口実として使われる）のテレビニュースでは犠牲者の大半が一般市民であり、特に子供たちです。私たちが一番守りたい

医療や生きるための糧が真っ先に奪われます。広島と長崎では瞬時に生き物すべてが命を失いました。私たちの保険医運動と戦争を起させない運動は関係ない……と悠長なことは言っておれません。

「戦わない覚悟」（新報）、「鉄の暴風吹かせない」（タイムズ）、「命が宝（マツダタカラ）」と声を上げ行動する力が私たちにはあります。青春時代を米軍基地フェンスの隣で過ごしてきた県民として、極めて控えめな願いである「普天間も辺野古も」ない沖縄になることを信じてます。

理事 山里 将進（かじまやクリニック）

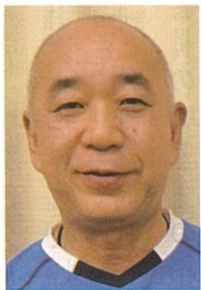


明けましておめでとうございます。ロシア、ウクライナの戦争もイスラエル、パレスチナの戦争も出口が見えない状態で新年を迎えました。2025年が平

和な年になることを強く祈念いたします。昨年のノーベル平和賞に日本の被爆者団体協議会が選出された事は核戦争阻止を目指す世界の平和運動に大きな励みになりました。命どう宝、平和が一番です。社会保障の改悪を許さないために平和運動を前進させましょう。

昨年は国民皆保険制度の根幹に関わる社会保障制度の改悪がありました。紙保険証の廃止が12月2日から始まり医療の現場では予想どおりの混乱が

理事 城所 望（南の島の健築アドバイザー）



だつびーニューイヤー！

今年は巳年。ヘビが冬眠から目覚め地上にはい出すところから、力を蓄えていたものが芽を出す「起点の年で脱皮の特性から「再生と誕生」の年でもあります。

医療界を取り巻く環境は依然として厳しく、診療報酬や医師の働き方改革など、課題は山積しています。しかしながら、私たちは患者さんの命と健康を守るという使命を胸に、協力

理事 譜久山 民子（オリブ山病院）



新年あけましておめでとうございます。早速ですが昨年10月に日本被爆者団体協議会ノーベル平和賞受賞改めお目出度いです。新年は、被爆・戦後80年の節目、安全安心の医療を目指す保険医協会として、平和を守る「事は改めて大事だ。しかし沖縄では、台湾有

広がっています。紙保険証を巡る違憲訴訟も第二ラウンドが始まると思います。医療従事者と患者の権利を守るための運動を前進させましょう。

し合いながらこれらの課題に立ち向かう必要があります。

本年も沖縄県保険医協会は、医療従事者が安心して診療に専念できる環境を整えるべく、政策提言や研修活動に注力し、皆さまの声をしっかりと受け止め、共に歩んでいく所存です。沖縄県保険医協会が更なる脱皮ができ、きらめく一年となるように本年もどうぞ二〇二五くお願いいたします。

皆さまにとって本年が健康で実り多い一年となることをお祈り申し上げます。

事をあおって、自衛隊基地や弾道ミサイルが設置され、協議なく米軍との訓練も進んで再び戦争かと、核保有国がいつでもボタンを押す緊迫感を感じる。

こんな中、昨年11月に沖縄で反核医師のつどいを開催。台湾の医師も含め講師の先生方は、台中は現状維持を望まれているとの分析だ。平和外交を提唱する玉城沖縄県知事を支え、かつ辺野古の戦いも、決して暴力を振るわない「沖縄なら

ではの粘り強い戦いを支えていきたい。
本年の干支は・蛇。ギリギリ神話で杖に巻き付いた

理事 喜納 初子



新春のお慶びを申し上げます
マイナ保険証への反対が

根強い中、健康保険証の新規発行は無しと。昨年の保険証が今年中は利用可能となり、まずは一安心。

先般の選挙で与党の半数割れでホッと一息。マイナ保険証廃止、ついでにマイナンバーカードの可否についても議論にならないかと期待。便利さと引き換えに一億総背番号で、個人情報を一括管理されては堪らない。疾患や薬剤その他の個人情報、必要なら、CDなりSDカードなりで個々

理事 天久 佐和子(おひら歯科クリニック)

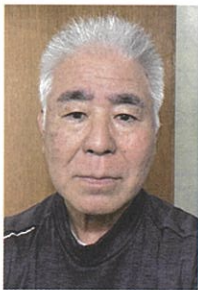


新年あけましておめでとございます。
歯科部会に出席するようになり、歯科の情報を得る機会に恵まれました。

保険医協会の活動にはいろいろありますが、昨年のイベントのひとつに有床義歯の講演があります。総

蛇は、医療の象徴であり、きつと、沖縄を2度と戦場にさせない! 県民の気持ちを、力強く押すだろう。

理事 座覇 守弘(さば歯科クリニック)



新年明けましてお目出とございます。
昨年中は会員の皆様、事務局の皆様、歯科部会及び理事会の先生方には大変お世話になりました。昨年より理事を拝命いたしました。これまで以上に緊張して会務に向き合って行きたいと思っております。又、初めて理事会に参加して会務が広範囲に及ぶ事に驚きました。微力ではありますが、保険医

希望は、韓国の直接民主主義の力を見たことと被爆者団体のノーベル平和賞受賞でしょうか。外へ出なければなりませんね。

義歯を安定させるための調整方法が、講師の長年の診療経験に基づいて披露され、とても勉強になりました。

秋には、反核医師の会の全国大会が沖縄で開催され、台湾をめぐるシンポジウムは盛況を博しました。先島諸島で進む自衛隊の配備、強化には、宮古島出身の私も無関心ではられません。

我々歯科医師は日々、目の前の業務に追われて、つ

い視野が狭くなりがちです。幅広い知識を身に付けて広い視野を持つことは、医療人が全人的医療を行う上で必要なスキルです。

保険医協会では、様々な企画を通して会員のお役に立つことを目指します。本年も皆様にとって良い一年となりますように。

協会の発展の為お手伝いさせていたたく所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年は個人的な感想としては、海外、国内においても物騒な世の中になつてきたと言ったのが正直なところ。対岸の火事ではなく、いつ自分の身に振りかかって来てもおかしくないと思ひしと感じています。

しかし、心配ばかりしていても腹が膨れる訳でも身入りが増える訳でも無いので何かしら希望の見出せる新しい年にしたいと思ひます。

皆様にとっても良い年になります様に

無料上映会

SILENT FALLOUT

サイレントフォールアウト

日時 2025年2月9日(日)
14:00~15:30(受付13:30~)

場所 沖縄県立博物館・美術館 3階講堂
先着順 要予約

申し込みはQRコード(URL)からお願いします <https://x.cd/WExtw>

2024~2025年度 保団連 第3回組織部会(12月21日、22日)

初日は「保団連の共済活動の意義と類似制度・商品」と題し阿部綾子保団連事務局次長(共済担当)を講師として学習会を開催。保団連の年金、休業保障、グループ保険はそれぞれの協会独自の共済として運営されているが、その特徴として利潤確保が目的でない非営利の制度運営、団体活動の一環として会員の実態に合わせた制度設計を行うことができ、制度発足から50年余り自らの手で守り育ててきた。

またオンライン資格確認は紙レセ請求限定医療機関

第3回保団連 非核平和部会参加レポート 「日本被団協がノーベル平和賞!!」

日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が2024年のノーベル平和賞を受賞した。

選考委員会は被爆者達の証言は唯一無二であり、核兵器使用に対する強い道徳的規範を築き、「核のタブー」として広まったと評価している。

日本被団協は、広島や長崎で被爆した人々が1956年に結成した全国組織であり、以後68年にわたり核兵器廃絶を訴える活動を行ってきた。その活動が、平和への貢献として広く認められたものと思われる。

日本被団協の受賞には、G8(アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダ・ロシア・日本)の首脳からも祝意を表すコ

織上昇率は軒並みマイナスの数値に転じており、その中でも沖縄県保険医協会はプラスを維持しており、医科は0.4%の424人、歯科は1.0%の423人の合計847人の増を維持している。組織率は医科が40.2%、歯科が70.4%でいまだ伸びしろを残している。その中で全国の協会の活動報告で会員拡大のため紹介による会員の入会が成功した場合50000円のギフトカードや1万円の報償金を紹介者へ贈与するなどの取り組みを行っている。

またオンライン資格確認は紙レセ請求限定医療機関

メンツが寄せられた。

日本被団協の代表委員・田中照巳氏(92歳のスピーチ要旨を以下に列挙する。

●「日本被団協の結成後、核兵器廃絶を目指して戦争被害の償いと核兵器の廃絶を訴え続けた運動の歩みと歴史を紹介した。その中で原爆被害が二度と繰り返されてはならないという強い信念で活動し続けたことが、核兵器禁止への国際的な規範形成に寄与したと強調している。

●しかし、原爆で亡くなった死者に対する償いを日本政府は今日まで全くしていない事実も強調。

で行われているスマートフォン、iPadから専用アプリをダウンロードして医療、薬剤情報は特に必要とせず資格確認のみの簡便な方法を、全ての医療機関に保団連として国に認めさせるべきとの意見も出た。オンライン資格確認、請求などこれに追従が困難となっている医療機関や、歯科のスタッフ獲得困難によると思われる閉院が全国で相次いでおり保団連としてもこの課題に取り組まざるを得ない状況となっている。

副会長 座覇修好

兵器の非人道性を理解し、政府の政策に変化をもたらすよう努めるべきだと呼びかけた。

●核兵器廃絶と平和な世界の実現のためには、国際的な協力と市民の認識が不可欠であり、被爆者の証言がその道を切り開く鍵であると訴えた。

副会長 樋口 豊

会員紹介推進キャンペーン

未入会の先生を紹介しご入会頂くと
クオカード3,000円分を贈呈!!
是非、友人・ご家族等お知り合いの先生
をご紹介下さい!!
※FAXまたはお電話にて協会事務局まで
ご連絡下さい。

この本に教わった ④6
「猫と考える動物のいのち」

木村 友祐 著 ちくまのブックス

本書には、小説家・木村さんと彼がいつしよに暮らす二匹の猫が登場します。著者によると、自分は小説家で動物の専門家ではないけれど、動物について言いたいことがあり、「動物について」のぼくの見方と、世の中の人の見方がずれていると思うことがよくあるから、この本を書こうと思ったことなんです。ところが、読み進めると、私には「ずれ」は感じられず、著者が書いていることは、どれもこれも納得のいくことなのです。（というところは、私も世の中からずれているのです。）

やさしくありたいばかりは、同居できるだろうか？と一瞬考え、いや無理だと判断するのです。ペランダから逃げたネズミを確認するとネズミは電線の上を逃げています。ところが足を滑らせ電線に宙づりになった状態でじっとしている。物干し竿を使って救出しようとしませんが届きません。その後も気になって何度もネズミを確認します。寝る前にもう一度見ると、ネズミの姿はなくなっています。ついに落ちたか？と暗い気持ちになったとき、ふと横をみると電柱の器具の上に避難して座っている姿を見つけたのです。お前たいしたやつだな」と著者は拍手喝采を送ります。翌日二匹の猫に著者はこう語ります。

「ぼくはネズミに対して、同じ生きものとして共感したいなものを感じたんですよ。ここから著者は「生きもの」の数だけ世界があり、たったこの今も、同じ時間に、多種多様な生きものたちがそれぞれの感覚で生きている。それって、じつはすごいことだと思いませんか？」と問いかけます。

と著者は説きます。ここでは書ききれませんが、生きているのに視野を広げたときに見えてくる厳しい現実も本書は書いています。「家畜」として生まれ殺されていく生きもの、動物実験で殺された猫の話、原発事故のあと大量に「処分」された動物たち。読むことが辛い現実も正直に書かれて胸が痛みますが、もつと知られるべきことだと思えます。この本が少年少女に向けて書かれたことも考えると、本書の重み・著者の誠実な姿勢が伝わってきます。



オリブ病院 横田 泉

マイナ保険証問題

トラブル増で医療機関の負担増大必至！
現行保険証とマイナ保険証の併用を求める

県内ではマイナンバーカード保有率64%（11月末時点）、マイナ保険証利用率7.43%（10月時点）でいずれも全国最低で推移しているが、この間、協会で行った会員アンケート調査結果では、昨年5月以降にマイナ保険証トラブルを経験した医療機関は6割を超え、トラブル回避に役立っている現行の保険証を残すか、保険証廃止は延期すべきとの意見が9割に達している。

また、マイナ保険証利用促進による窓口での患者トラブルも6医療機関で発生しており、その対策として受付スタッフの増員を検討している医療機関もあった。このような会員医療機関の意見をとらめ、保険証廃止反対県連絡会および保団連と連携し、請願署名活動、国会要請、記者会見などの取り組みを継続してきたが、昨年12月2日から健康保険証の新規発行が停止

され、今後各医療機関の窓口では患者への複雑な資格確認方法の説明、カードリーダーによる読み込みエラーや情報の誤登録などのトラブル対応による負担増が懸念される。さらに今年7月末には後期高齢、国保の患者が保険証切替えとなり、加えて電子証明書の有効期限切れ問題など大混乱が予想される。協会ではこれらの医療機関の負担、混乱を回避し、患者の受療権

を守る取組みとして保団連発行のマイナ保険証登録解除リーフの活用を呼びかけている。リーフの要望は協会事務局までご連絡を。2023年2月に東京保険医協会が中心となつて1,415人の原告団で提訴し争われてきた「オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟」の判決が昨年11月に言い渡され敗訴となったが、現在控訴審に向けて準備が進められており、沖縄協会からも8人が原告団に参加し、オンライン資格撤廃に向けた取組みも継続していく。

加入申込受付中！

「グループ生命保険」
「団体所得補償保険」
「団体サイバー保険」

*詳しい内容や資料請求のお問合せは、
保険医協会事務局まで。

会員へのお知らせ

近年、ネット社会の急激な移行に伴う弊害が指摘され、患者さんの迷惑行為も口コミサイトへとシフトしています。当協会では、それに対応する「迷惑行為対応マニュアル(改訂版)」さらに、応召義務に対応した「迷惑行為による診療お断りポスター」を発行し、同封しております。なお、「暴言・暴力・迷惑行為ストップ」ポスターが必要な会員はご連絡ください。

共済部だより

休業されたらすぐに協会にご連絡を！

2024年12月度休業保障共済保険給付実績(5件)

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	3口	0日	3日	54,000円
B先生	3口	0日	5日	90,000円
C先生	5口	3日	6日	300,000円
D先生	5口	14日	12日	920,000円
E先生	3口	0日	3日	54,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、速やかに協会事務局(☎098-894-9579)にご連絡下さい。

★毎月20日はグループ保険、26日は休業保障・保険医年金の保険料振替日です。

グループ生命保険 【更新のご案内】

現在グループ保険にご加入の先生方へ、12月初旬に保険医共済会(大阪)より更新のご案内書類一式が郵送されていますので、内容をご確認いただけますよう、よろしくお願いいたします。

現在ご加入の内容で変更がない場合は自動更新となりますので、お手続きは不要です。

更新申込締切:2025年2月3日(月)

効力発生日:2025年4月1日(火)

!新規加入者も随時加入受付中!

LINE公式アカウント
友達募集中!!
QRコードから
ご登録ください。↓↓↓
学習会などの各種
ご案内をお送りします。



グループ保険

福利厚生制度サービス追加のお知らせ

この度、2024年4月より、グループ保険にご加入中の皆様がお申しただける「福利厚生制度」に新たなサービスが追加されました!対象の先生方へは保険医共済会からご案内が送付されています。

今回、新たに導入された「N-コンシェルジュ」のサービスは、日常生活でご利用いただける優待特典や、メンタルヘルスに関するご相談対応など、ご家族でご利用いただけますので、是非ご活用ください。

